



人口	世帯	(12月1日現在)
人口	193,741人	(前月比+130人)
世帯	61,535世帯	(前月比+79世帯)

# 小田原市が「満50歳」に

## 記念式典で市政功労者を表彰

昨年十二月二十日に、小田原市は市制施行五十周年を迎え、記念式典を市民会館で行いました。

式典には各団体の代表など約千百人が参列し、あいさつに立った山橋市長が二十一世紀に向けたまちづくりへの決意を述べ、引き続き市政功労者 百一人と五

十二団体が山橋市長から表彰されました。また、第一部では市民から募った「小田原五十選」の発表や、小中学生二十五人が小田原の未来をつづつた作文の一節をリレーで読み上げるアトフクションも行われ、市の「満五十歳」のお祝いを盛り上げました。



子どもたちはリレーで読み上げた「未来の夢」を梅丸君に託しました



いろいろな分野で功労があった方々に感謝状や表彰状が贈られました

# 新春の城址を快走 元旦マラソンに450人

新年のスポート行事として親しまれている「元旦マラソン大会」が元旦に行われ、約四百五十人が新春の小田原城址周辺を元氣いっぱい駆け巡りました。

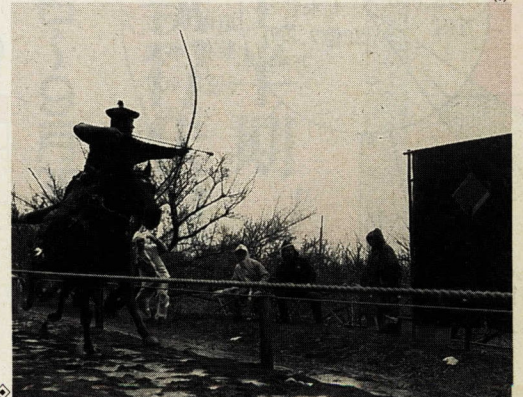
午前十時、号砲を合図にスポーツ会館前を一齐にスタートした参加者たちは、静かなたたずまいを見せる天守閣を横に見ながら力走。快い汗を流しました。

全力で駆け抜けた人も、マイペースで走った人も、今年も健やかなスタートが切れたことにとっても満足そうでした。



お城を横に見ながら頑張って走りました

# 小田原 梅まつり



今年も恒例の小田原梅まつりが2月1日から28日まで曾我の梅林と城址公園で開催されます。

3万本の梅の花が咲きほころぶ曾我梅林では、野だて、寿獅子舞、流鏝馬(やぶさめ)など、期間中たくさん催物が予定されています。雪化粧した美しい富士山を眺めながら「梅の里」の散策をお楽しみください。

みなさんのお越しをお待ちしています。

◆問い合わせ 観光協会 ☎25002  
又は観光課 ☎33-1521

2/1～28 梅の里さんぽを

# 地震被害から学ぶ 防災講演会を開催

現在、小田原周辺では東海地震、神奈川県西部地震などの発生が心配されています。

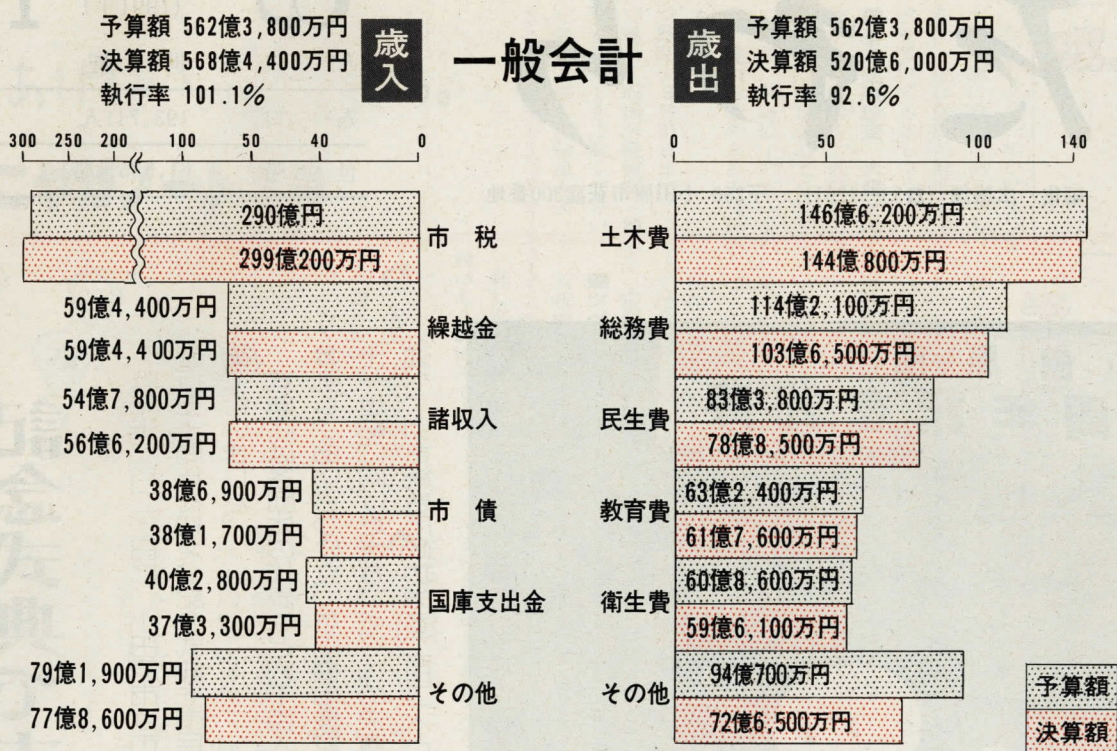
◆日時 2月5日(火) 午後1時30分～3時30分  
◆会場 中央公民館ホール(市役所隣)

◆対象 自主防災組織役員・市民・防災関係機関職員等  
◆講師 横浜国立大学教授・神奈川県西部地震対策検討委員会座長 村上處直さん  
◆演題 「最近の地震災害に学ぶ」

◆問い合わせ 防災対策課 ☎33-1855

# 財政状況の公表

## 平成元年度の決算状況



## 市職員の給与等 のあらまし

平成2年4月1日現在

職能	平均給与	平均年齢
技能労務職	323,235	47.4歳
事務系	349,261	46.5歳
その他		48.0歳

平成2年4月1日現在

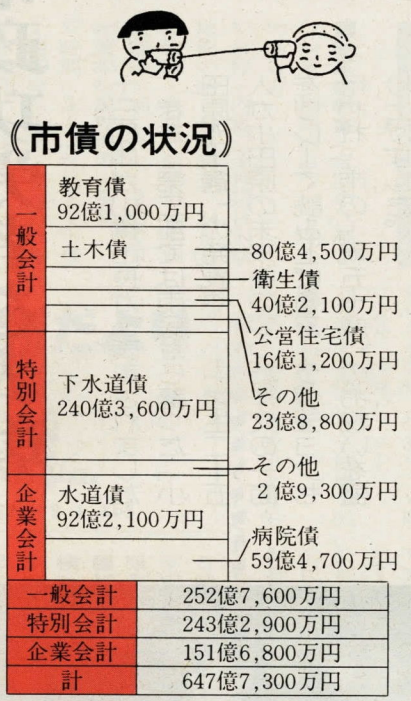
職能	採用2年後	採用3年後
技能労務職	146,600	161,000
事務系	106,600	113,500

平成2年4月1日現在

職能	経験15年	経験20年
技能労務職	276,900	329,200
事務系	243,200	284,500

平成2年4月1日現在

職能	7級	8級	計
長	78人	36人	943人
長補佐	8.3%	3.8%	100.0%
参事	8.7%	4.1%	100.0%



### 〔一般会計性質別状況〕

種別	金額	構成比
自主財源	450億2,200万円	79.2%
依存財源	118億2,200万円	20.8%

市は、みなさんに本市の財政について理解を深めていただくために、半年ごとに財政状況の公表を行っています。

今回の公表は、平成元年度の決算と平成二年度上半期の執行状況について、その概要はここに掲げた表やグラフのとおりです。

なお、公表金額の単位については、金額が大きいので百万円単位で紹介してあります。

詳しいことについては、財政課(☎33131)までお問い合わせください。

### ◎特別会計

会計名	予算額	決算額	執行率
競輪会計	321億1,700万円	歳入 321億5,600万円 歳出 306億2,300万円	100.1% 95.3
天守閣会計	1億9,000万円	歳入 1億9,900万円 歳出 1億1,500万円	104.7 60.5
下水道会計	87億9,600万円	歳入 88億円 歳出 86億5,300万円	100.0 98.4
国民健康保険会計	79億6,900万円	歳入 79億9,300万円 歳出 78億3,100万円	100.3 98.3
国保診療施設会計	4,300万円	歳入 4,000万円 歳出 3,600万円	93.0 83.7
交通災害共済会計	8,000万円	歳入 7,600万円 歳出 6,800万円	95.0 85.0
卸売市場会計	2億6,900万円	歳入 2億7,100万円 歳出 2億5,600万円	100.7 95.2
老人保健会計	73億9,800万円	歳入 71億3,000万円 歳出 71億2,700万円	96.4 96.3
簡易水道会計	3億8,400万円	歳入 3億7,900万円 歳出 3億7,000万円	98.7 96.4

### ◎土地開発公社

区分	予算額	決算額	執行率
収入	87億2,200万円	68億3,100万円	78.3%
支出		67億6,100万円	77.5

貸借対照表

資産の部	負債・資本の部
土地	借入金等 60億 300万円
その他	資本 24億 400万円

### ◎学校建設公社

区分	予算額	決算額	執行率
収入	18億6,000万円	18億2,200万円	98.0%
支出		18億1,600万円	97.6

貸借対照表

資産の部	負債・資本の部
建物	借入金等 3億6,200万円
その他	資本 600万円

### ◎公益事業協会

区分	予算額	決算額	執行率
一般事業	収入 2億 800万円	2億 600万円	99.0%
特別事業	収入 6億1,600万円	6億3,900万円	103.7
支出		6億 900万円	98.9

### ◎企業会計

＜水道会計＞

区分	予算額	決算額	執行率
収入	33億3,800万円	34億6,600万円	103.8%
支出	27億6,000万円	26億7,400万円	96.9

概要

項目	数値
給水戸数	54,958戸
給水人口	170,770人
給水量	22,508,880m <sup>3</sup>

### ◎病院会計

区分	予算額	決算額	執行率
収入	77億4,100万円	78億5,700万円	101.5%
支出	77億3,800万円	75億8,500万円	98.0

利用者数

区分	実患者数	延患者数	1日平均
外来	228,206人	393,817人	1,335人
入院	10,731人	148,907人	408人

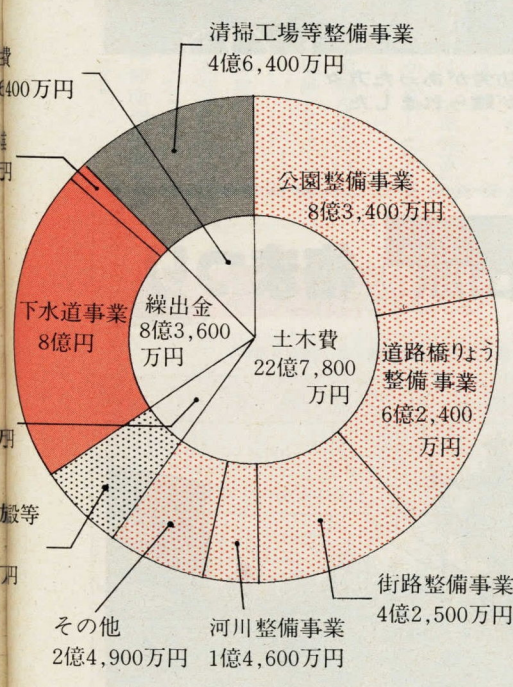
### (市民の負担と持分)

項目	1人当たり	1世帯当たり
市税	155,869円	478,498円
長期借入金	337,644円	1,036,522円
市有財産	713,916円	2,191,628円

○人口 191,839人  
○世帯 62,491世帯  
(平成2年3月31日住民基本台帳調べ)

### 競輪収益金の用途状況

平成元年度収益金総額 38億円



市民のみなさんの福祉向上を目指して、様々な分野で働いています。  
 今回は、これらの職員の給与について一層のご理解をいただくために、その概要をお知らせします。  
 お問い合わせは、職員課人事係(☎31241)へ。

### 給与決定のしくみ

職員の給与については、地方公務員法やその他の法律により、国家公務員や他の市町村の職員の給与、民間企業の従業員の賃金、そして生計費等を考慮して市の条例で定めることとなっています。

また、市議会議員、市長、助役などの特別職の報酬は、学識経験者や市民の各層を代表する方々で構成される小田原市特別報酬等審査会に諮り、市議会の審議を経て条例で定められています。

(本文中、「一般行政職」は、一般の事務職と技術職の総称で、医師、看護婦等の医療職、消防職、技能労働職を除きます。)

### 給与等の内容

#### 元年度人件費(表1)

一般職に支給される給与と議員や市長など特別職に支給される給与、報酬のほか、共済費(社会保険料の事業主負担分)等を合計したものです。

#### ラスパイルズ指数

ラスパイルズ指数は、給料

住民基本台帳人口	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費比率(B)/(A)	63年度人件費比率
19万1,839人	520億6,141万円	40億3,554万円	121億6,604万円	23.4%	25.1%

職員数(A)	給与			計(B)	1人当たり給与費(B)/(A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当		
1,605人	54億7,530万円	17億7,947万円	28億1,054万円	100億6,531万円	627万円

#### 職員の平均給料月額、給与月額

団体区分	一般行政職		平均年齢	平均給与
	平均給料	平均給与		
小田原市	291,843	400,341	39.8歳	253,700
神奈川県	293,311	395,915	40.1歳	272,800
国	253,950		39.2歳	235,900

#### 一般行政職の初任給

区分	小田原市		神奈川県	
	初任給	採用2年後	初任給	採用2年後
大学卒	146,500	161,000	132,100	146,500
高校卒	121,700	132,100	110,000	117,300

#### 一般行政職の経験年数別・学歴

学歴区分	経験5年	経験10年
	大学卒	190,600
高校卒	153,200	197,700

この給与水準を算する物指しです。これは、市の職員構成を国と同じと仮定して給料総額を計算して得た数値を国の俸給総額で割った数値に100を掛けただけの数値です。数値が大きい団体ほど給与水準が高いと言えます。

元年度の本市のラスパイルズ指数は108.1(国を100とした場合)で五十六年度以降年々減少しています。

### 職員手当の状況

職員手当は、次の三つに分かれます。

(1)毎月決まって支給される手当

●調整、扶養、住居、通勤、管理職手当など

(2)勤務した実績に応じて支給される手当

●時間外勤務、特別勤務、宿日直手当など

(3)臨時に支給される手当

●末、勤勉、退職手当など

●調整手当(二年四月一日現在)

●民間の賃金、物価、生活費の事情を考慮して支給される手当で、給料と扶養手当、管理職手当の合計額の十パーセントを支給します。

●なお、管理職手当は、管理職の職責に応じて給料の十七パーセント支給します。

●支給対象地域 全域

●支給率 一〇〇%(国は三〇%)

●対象職員 全職員

●その他の扶養親族

一〇〇〇円(一〇〇〇円)

●交通機関等利用者

二〇キログラム以上五キログラム未満

●三〇キログラム以上

一〇四六〇〇円(市と同額)

●時間外勤務手当 正規の勤務時間を超過して勤務したときに支給

●元年度一人当たり支給額

一〇四七三六六円(三〇万四九〇七円)

●特殊勤務手当(元年度)

●危険、困難、不健康な業務に従事したときに支給

●職員全体に占める支給職員の割合 五九・七%

●対象職員一人当たりの平均支給額 二万二四〇〇円

●種類(手当数) 四十種類

●代表的な手当の名称

●支給額が多い手当

●医師手当、診療手当、医師手当

●多くの職員に支給されている手当

●看の手当、特殊施設勤務手当、清掃作業手当、現場技術手当

### 特別職の報酬等

市議会議員、市長などの特別職の報酬等は、平成二年一月一日に改定されました。

- 議長 五〇万五〇〇〇円
- 副議長 四三万八〇〇〇円
- 議員 四〇万六〇〇〇円
- 給料 八六万八〇〇〇円

- 助役 七十一万七〇〇〇円
- 収入役 六一万九〇〇〇円
- 元年度期末手当 議長、副議長、議員、市長、助役、収入役
- 六月期 二・〇三月
- 十二月期 二・七〇月
- 三月期 〇・五〇月
- 合計 五・二三月

#### 期末手当・勤勉手当

区分	小田原市		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
6月期	1.66月分	0.5月分	1.5月分	0.6月分
12月期	2.11月分	0.6月分	1.9月分	0.6月分
3月期	0.5月分		0.5月分	
計	4.27月分	1.1月分	3.9月分	1.2月分
	5.37月分		5.1月分	

#### 退職手当

区分	小田原市		国	
	自己都合	定年・勤奨	自己都合	定年・勤奨
勤続20年	21.0月分	38.628月分	21.0月分	28.875月分
勤続25年	33.75月分	49.59月分	33.75月分	44.55月分
勤続35年	47.875月分	70.296月分	47.5月分	62.7月分
最高限度額	60.0月分	70.296月分	60.0月分	62.7月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置1年につき2%加算最高20%			
退職時特別昇給	定年・勤奨1~2号		原則1号棒	
平均支給額	123万円	2,127万円		

平均支給額は、元年度の退職手当の支給額(1万円未満四捨五入)

### 《特別会計》

会計名	執行済額	執行率
競輪会計	歳入 172億6,300万円	66.9%
	歳出 134億7,900万円	52.3
天守閣会計	歳入 1億4,000万円	96.9
	歳出 4,300万円	29.7
下水道会計	歳入 12億2,200万円	13.3
	歳出 23億2,300万円	25.2
国民健康保険会計	歳入 31億7,700万円	40.0
	歳出 29億300万円	36.5
国保診療施設会計	歳入 2,000万円	50.0
	歳出 1,800万円	45.0
交通災害共済会計	歳入 7,700万円	101.3
	歳出 3,500万円	46.1
卸売市場会計	歳入 1億2,900万円	50.6
	歳出 8,400万円	32.9
老人保健会計	歳入 31億1,300万円	40.6
	歳出 31億5,600万円	41.2
簡易水道会計	歳入 5,900万円	12.2
	歳出 6,700万円	13.9

### 《一般会計》

科目	歳入		歳出	
	収入済額	執行率	支出済額	執行率
市税	140億6,900万円	47.5%	29億3,700万円	25.4%
繰越金	47億8,400万円	142.0	45億6,500万円	49.3
国庫支出金	10億3,300万円	27.3	32億9,200万円	39.2
使用料及び手数料	6億700万円	49.9	25億1,000万円	31.1
県支出金	3億3,500万円	16.8	17億5,500万円	26.9
諸収入	3億900万円	5.7	8億2,300万円	29.5
その他	14億7,700万円	17.1	7億6,700万円	40.8
合計	226億1,400万円	41.9	179億3,200万円	33.2

### 《企業会計》

水道会計	収入済額	執行率	支出済額	執行率
	16億6,700万円	48.0%	10億7,100万円	34.7%

給水量	今期	前年度同期	比率
	11,583,894m <sup>3</sup>	11,091,003m <sup>3</sup>	104.4%

病院会計	収入済額	執行率	支出済額	執行率
	33億8,200万円	44.4%	32億9,200万円	43.2%

利用者数	区分	実患者数	延患者数	1日平均
	外来	117,412人	207,500人	1,383人
入院	5,663人	73,985人	404人	

### 《市有財産の状況》

公有財産	土地		建物		工作物		その他	
	金額	執行率	金額	執行率	金額	執行率	金額	執行率
基金	98億100万円							
物品	9億9,000万円							
企業会計財産	246億6,400万円							
総額	1,385億2,800万円							



## 平成2年度上半期の執行状況

平成2年4月1日～9月30日

連載随筆「小田原の50年あれこれ」は4面に掲載してあります。

衛生 4億6,000万円  
 水道事業 3,600万円  
 教育費 2億2,200万円  
 義務教育施設整備事業 2億2,200万円

